



三井新成 議員

消防団の強化策は

広域消防の一元化に 合わせて見直す

質問・・・広域消防の組織、業務内容は町民にどのくらい理解されているか。

町長・・・平成27年度に防災無線がデジタル化されることで数十億円のコストがかかるため、広域化は各市町村の負担軽減を目的としている。来年9月を目途に実施計画を策定し、町民に説明していく予定。

質問・・・指令センターと各消防署及び地区分団との連携において、問題になっていることはあるか。

町長・・・諏訪圏域全体に及ぶ大きな災害が発生した場合、新設される指令センターと各市町村の災害対策本部との間でタイムリーな情報のやりとりができないため、その対策を検討中。

質問・・・町内における各消防団組織

の強化策、増強策を、どのように考えているか。

町長・・・諏訪広域消防の一元化に合わせて、どのように連携するのが良いか、全面的な見直しを行う。

質問・・・消防団員の俸給、手当等を増額する考えは。

町長・・・町財政が逼迫しており、増額は難しい。しかし、広域化を進める上で手当等の格差があれば、是正していく。消防団の皆さんには、地域貢献と奉仕の精神で頑張っていたきたい。

■丸山墓地公園について

質問・・・丸山墓地公園の整備、販売促進の状況は。

町長・・・支障木の伐採が終わり、3月末までに区画ブロック等の整備を行う。向こう3年で階段・手すりを整備する。販売状況は看板の設置等により、今年度はすでに例年を上回る6区画を販売した。整備をすれば売れるので、積極的に広報等に宣伝を出す。

■富士見OKKOH祭について

質問・・・富士見OKKOH祭りの意義は。また、町主導で進める考えはあるか。

町長・・・町民が絆を深める重要な祭りであり、商工会でできない部分は地域や団体など、町全体で担いたい。



小池博之 議員

通年型予算を組むのは

2期目への決意が 任期中の町政運営に全力 を注ぐ

質問・・・8月に町長は任期満了を迎えるが、通年型の来年度予算を組むのは、引き続き町政を担当する意欲と決意であると受け止めて良いか。来年度の歳入、教育予算の見通しは。

町長・・・2期目は未定。来年度の予算編成は従来の延長線上であり、町民の意思に基づいて進めるもの。次期町長を誰がやるという問題とは別と考えている。町税の歳入は基本的に変化はないとみている。来年度の教育関係予算規模は、本年度並みを確保したい。

■「教育の町」づくり推進について

質問・・・中3対象の「無料塾」は、開講の方向性が定かでないとの声がある。開講の目的は「塾に行けない生徒の

ため」か、「受験対策」か、「基礎学力の強化」か、それとも「自主的な学びの場」か。ボランティア講師の確保と継続に向けての予算措置を、どう考えるか。

教育長・・・すべての生徒に学ぶ喜びを知ってもらい、学習意欲を高め、自主的・自発的な学びの場として、生涯にわたり学ぶ喜びを味わうきっかけとしたい。その結果として、学力の底上げを図りたい。講師の確保は大変難しい。通年開講へ向け、講師に対する交通費や謝礼の支払いについても検討している。

■住民懇談会について

質問・・・昨年の秋に開催された住民懇談会をどう総括するか。各会場とも参加者があまりにも少ない。開催方法など、知恵を出すべきと考えるが。

町長・・・残念ながら参加人数は少ないが、貴重な意見が出た。有意義な機会であり、今後多く多くの町民の声を聴けるよう、努力したい。

■災害に強い町づくりについて

質問・・・大震災発生時、安否確認ができない1500世帯(3000人)の町民に対し、行政として安全・安心をどう確保するか。

町長・・・区末加入者への対応に苦慮している。ITの発展に伴い、ソフト面での対応を検討している。SNS、フェイスブックの機能などを利用したい。